

MRI(磁気共鳴画像診断装置)について

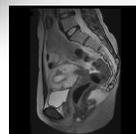
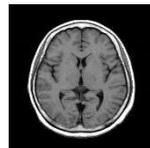
★MRIとは

MRIとは強い磁石と電波を使って体の内部構造を鮮明に見ることができる検査です。

患者さんの体を切ったりすることなく、検査ベッドに横になっているだけで、色々な角度から体の断面の写真を撮影することが出来ます。

検査中は、木槌で木をたたくような連続音が周囲から聞こえてきます。

多少うるささを感じるかもしれませんが、検査中は身体を動かすことなく辛抱してください。もし途中で気分が悪くなったり不都合なことがありましたら遠慮なく検査担当者にブザーでお知らせください。



★MRI検査前の準備

● 次の物は故障したり破損したり、検査に影響したりすることがあります。検査前に必ず取り外しておいてください。

◆ 金属類・・・時計、眼鏡、携帯電話、ライター、鍵、アクセサリ類など

◆ 磁気カード・・・キャッシュカード、定期券など

◆ その他・・・取り外しのできる義歯、補聴器、カイロ、シップ、ベルト、エレキバン、医療用の薬剤パッチ、金属のついた下着など

◆ カラーコンタクト、アイメイク(アイシャドー・マスカラなど)

含まれている成分によっては、検査時に発熱を起こし、眼球や皮膚にやけどや重篤な障害を起こす可能性があります。検査当日はつけずに御来院ください。

◆ 防寒用下着(ヒートテック、ボディヒータ、あったかインナー等)

防寒用下着は使用されている素材により発熱を起こすことが確認されています。やけどを引き起こす可能性がありますので必ずお脱ぎください。

● 次のものは必ず申し出をお願いします。

◆ 刺青、ファッションタワー、アートメイクをされている方
含まれている成分によっては、検査中に熱感を感じる場合があります。熱感がある場合は検査用ブザーでお知らせください。

● 検査前に所定の検査着に着替えてから検査室に入ります。

● 検査時間は30分～1時間です。検査前にトイレを済ませておいてください。

子宮・卵巣・膀胱のMRI検査の方は尿をためておく必要があります。できれば検査開始30分前から排尿は行わないでください。



★MRIの造影剤とは

MRI検査ではより詳しい検査を行うために「造影剤」を使うことがあります。

造影剤は通常、静脈から注射します。また検査内容によっては経口的に飲用する造影剤もあります。

これらの造影剤は比較的副作用が少ない医薬品ですが、次のことに注意してください。

● 喘息(ぜんそく)にかかったことのある方、またアレルギー体質の方は事前に担当医、または問診時にお申し出ください。

● 腎機能が悪いといわれた方、腎機能に異常があるといわれた方は事前に担当医にお申し出ください。

● 造影剤を投与した後に、気分が悪くなったり、じんましんが出たりすることがあります。

このような異常を感じたときには、すぐに検査担当者に検査時にお渡しするブザーでお知らせください。

★MRI検査を子供の患者さんに行うとき

MRI検査では、動くときれいに写真が撮れません。特に低年齢の子供の患者さんの場合には、動かないように眠っている状態で検査を行います。患者さんによっては、授乳だけで眠らない時などに、ごく軽い睡眠薬を使うこともあります。

★MRI検査を受けることができない方

MRIで使われる磁石や電波は、通常は人体への影響はありません。ただし、次のような方はMRI検査をうけられないことがあります。事前に担当医または検査担当者にご相談ください。

妊婦または妊娠の可能性のある方

体内に以下のような医療用の金属・生体機械・人工物の埋没のある方

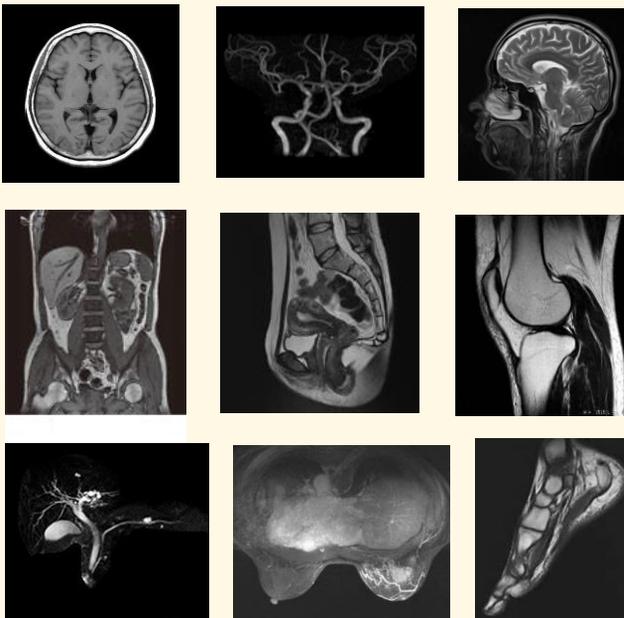
- 心臓ペースメーカー・埋め込み型除細動器(ICD)
- 人工内耳・神経刺激装置などの体内電子装置
- 脊柱管内リード線・脊髄刺激装置
- 脳動脈瘤クリップ(くも膜下出血の手術など)
- 心臓や血管内の金属類・人工物(リード線・コイル・ステント・人工血管・静脈フィルター)
- 人工心臓弁
- 圧可変式バブルシャント(脳室シャント・腹腔内シャントなど)
- 消化管出血などの止血用クリップ・マーキングクリップ
- 整形外科手術で用いる人工骨頭・人工関節・髄内釘・プレート・創外固定など
- 骨盤内の避妊リング(金属ワイヤー使用の場合)
- 鍼灸(はり)用 埋没治療針

※上記医療用金属等を入れた方は、入れた部位・手術年月・手術施設・MRI対応製品であるかの告知が必要です。

体内に事故等で金属がある場合(鉄粉・鉄片・銃弾等による破片など)

その他金属類や人工物を身につけている場合(補聴器・義眼・義足・コルセットなど)

このようにさまざまな写真の撮影が行えます。



GE Signa HDe 1.5T